

令和 2 年度 第1回 大阪市立難波中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立難波中学校
 校園長名 鍋谷 賀都緒

実施方法		今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、学校協議委員等に資料を送付し、メールなどの通信手段を用いた意見交換とした。		
日 時		令和 2 年 4 月 27 日 (月) ~ 5 月 8 日 (金)		
資料送付先	委員など	脇原 健二 (会長) 豊嶋 瞳子 (副会長) 古屋 晃宣 (副会長) 青木 崇浩 (書記) 門田 高志 (委員) 西田 拓也 (委員) 井上 隆裕 (委員) 石井 俊照 (委員) 坂本 安敏 (委員) 浅田 正仁 (委員)		
	校園	鍋谷 賀都緒 (校長) 大宅 淳一 (教頭) 藤川 雅司 (首席) 京田 将典 (教務主任) 高久 裕次 (人権教育主担) 平島 陽介 (生徒指導主事) 包山 彩音 (保健主事) 谷口 英代 (学校元気アップ地域コーディネーター)		
	区役所	榎 正文 (区長) 生駒 莊太郎 (教育・学習支援担当課長代理)		
議題		1. 本年度の学校協議会について 2. 「運営に関する計画」について 3. 「校長経営戦略支援予算」について 4. 「学校安心ルール」について 5. 「学校元気アップ地域本部事業」について 6. 情報交換 7. 連絡事項等		
		協議の結果		報告・意見の概要
報告・協議要旨	1	本年度の学校協議会の目的について共通理解が図れた。		さまざまな立場の方々の視点から、学校の運営について意見をいただくことは大変貴重なことなので、前回から引き続き委員を委嘱された方々を中心に、学校協議会をより活発にしていくよう各委員で努力を重ねてほしい、という要望が学校からあった。
	2	「運営に関する計画」の中期目標、年度目標、取組内容、指標が承認された。		中期目標達成に向けての最終年度ということで、各取組みを充実したものとし、1つでも多くの指標から、学校の運営を自己分析していくことの報告を学校から受けた。 臨時休業中に実施できなかった学習保障をしっかりと行ってほしい、と意見した。
	3	「校長経営戦略支援予算」の予算内訳を確認し、承認された。		「校長経営戦略支援予算」などの仕組みについて、共通理解を図った。 運営に関する計画に提示された取組みを具現化するための種々の方策について報告を受けた。

報告 ・ 協議 要旨	4	本年度の「学校安心ルール」が承認された。	昨年度、運用上何も問題がなかったことから、本年度も同じ内容であること。また、対応する生徒一人ひとりの状況に応じて、指導方法を検討していくことの報告を受けた。
	5	「学校元気アップ地域本部事業」の今年度の活動について承認された。	放課後の学習会や図書室の開館、区役所と連携して行っている「種花事業」の活動の詳細について、報告を受けた。
	6	意見交換を行った。	学校・先生方も大変だが、この難局に対してどのように対応していくか、情報公開を行い、協力できることがあれば協力していきたいと意見表明をした。
	7	連絡事項を受けた。	今年度の学校協議会の運営事項、傍聴要領を確認するとともに、第2回、第3回の実施予定月の報告を受けた。 重ねて、今年度は改選の年で、次回からは新しいメンバーで開催される説明を受けた。
配付 資料	(学校より) ・令和元年度 大阪市立難波中学校 学校協議会名簿 ・大阪市立難波中学校 学校協議会 運営事項、傍聴要領 ・令和2年度 運営に関する計画 ・令和2年度 運営に関する計画（添付資料） ・令和2年度 校長経営戦略支援予算（概略説明用） ・令和2年度 難波中学校 学校安心ルール ・令和2年度 大阪市立難波中学校学校元気アップ地域本部事業 活動予定表		
備考	傍聴者[0]名 問い合わせ等はなし		